

来年度には大型観光キャンペーン ～宮島・広島・呉・愛媛・松山を結ぶ～

スペシャルドラマ「坂の上の雲」のゆかりの地として、そして修学旅行誘致で、観光客の誘客に成功してきた愛媛県松山市。瀬戸内海を挟んだ広島地域と連携し、「瀬戸内・松山」構想に新しくチャレンジしている。日本初の国立公園である瀬戸内海にあって、その中でも広島と愛媛・松山を結ぶエリアは多島美に代表される島々の風光明媚な風景や、歴史・文化・産業など、資源の宝庫となっている。高速船やクルーズフェリーが運航する宮島、広島、呉から松山までの海上航路を「瀬戸内海道1号線」と命名し、新たな観光ルートとして、全国の観光関係者にアピールしてきた。

「瀬戸内・松山」構想 キャンペーンの 開催に向けて



野志克仁
松山市長

「瀬戸内・松山」構想 実現に向けて

世界に誇る「瀬戸内海」に着目し、広島地域と愛媛・松山の資源を組み合わせ、ニューツーリズムの創造を目指す松山市の「瀬戸内・松山」構想。その第一弾となった商品「瀬戸内はくろいず」の就航と合わせ、この宮島から広島・呉・松山までを繋ぐ海上ルートを「瀬戸内海道1号線」と命名しました。



四国旅客鉄道株式会社
泉 雅文 社長

キャンペーン、 そして構想実現へ

平成21年、弊社は松山市と観光振興に向けたパートナーシップ協定を結び「坂の上の雲」そして「瀬戸内・松山」と取り組みを深めて参りました。



西日本旅客鉄道株式会社
柴田 信
取締役兼常務執行役員営業本部長

瀬戸内への 交流人口の拡大

この度のキャンペーンでは、地元の皆様が、松山という観光地を「点」で捉えるのではなく、広島と松山を結ぶ広域の観光ルートを「面」として捉え、提案されているところにポイントがあります。



瀬戸内海汽船株式会社
仁田 一郎 社長

テーマパーク 瀬戸内海

この度、松山市とJRグループ各社、関係各位のご協力により、瀬戸内海を周遊する旅行商品ができました。



石崎汽船株式会社
中矢 章敬 常務取締役

JRと船を利用した新しい 瀬戸内周遊型の旅行の誕生

この度、松山市・JR四国・JR西日本各社のご協力をいただき、瀬戸内・松山キャンペーンが開催されます。

瀬戸内・松山
期間／4月1日～6月30日

キャンペーン概要

松山城の「昼のお茶しみ」としては「野原」特別公開。松山城では天守をはじめ2棟が国の重要文化財に指定されており、その中でも特に、日本で唯一現存する望楼型二重櫓で、天守の原型といわれている「野原櫓」が特別公開される。期間は、4月1日から来年3月31日の毎週土曜日。日天守出札前10時集合。所要時間は約20分。

3船旅と列車旅を楽しむ「瀬戸内・松山」

「瀬戸内・松山」は、瀬戸内海を周遊する旅行商品ができました。心から御礼申し上げます。

1. 松山駅から始まる「まち歩き」路面電車

「まち歩き」路面電車は、松山城から始まる。期間は、4月1日から6月30日の毎週土曜日。所要時間は約20分。

2. 松山・道後の楽しみ方

「道後の楽しみ方」は、松山城から始まる。期間は、4月1日から6月30日の毎週土曜日。所要時間は約20分。

松山市とJR四国、JR西日本が連携 瀬戸内・松山ぐるりんパスも発売

「瀬戸内海道1号線」は、宮島・広島・呉・松山を結ぶ海上航路。この度、松山市とJRグループ各社、関係各位のご協力により、瀬戸内海を周遊する旅行商品ができました。





「瀬戸内・松山」構想の軌跡

～瀬戸内ツーリズムが動き始めた～



一色 昭造
石崎汽船社長



後藤 昇 広島県地域政策局
海の道プロジェクト担当部長



平尾 政彦 四国ツーリズム創造機構
事業推進本部長



浅谷 聡 愛媛県観光振興アドバイザー
(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)



野志 克仁
松山市長

「瀬戸内・松山」構想の軌跡。光栄「瀬戸内・松山」構想を推進する「瀬戸内・松山」観光振興推進本部が、今年10月1日に、松山市立立石記念博物館で開かれた。地元や観光関係者など約300人が参加した。

松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、



泉 雅文
JR四国社長



道後温泉エリアで本格的な観光シンポジウムが開催されたのは初めて



宮崎 光彦 道後温泉誇れるまちづくり
推進協議会会長(宝荘ホテル社長)

「瀬戸内・松山」構想の軌跡。光栄「瀬戸内・松山」観光振興推進本部が、今年10月1日に、松山市立立石記念博物館で開かれた。地元や観光関係者など約300人が参加した。

松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、



記念セレモニーの様子



乗客を横断幕で歓迎



瀬戸内の島々



船内で松山の観光をガイド

瀬戸内はいくる～ず 記念セレモニー開催

11年10月1日に「瀬戸内・松山」構想の柱となる「瀬戸内・松山」観光振興推進本部が、今年10月1日に、松山市立立石記念博物館で開かれた。地元や観光関係者など約300人が参加した。

松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、



野志市長と前中弘美 日本旅行取締役 兼常務執行役員西日本営業本部長



TIS大阪で街頭PR

愛媛県松山市の野志克仁市長は、11年7月29日に日本旅行西日本営業本部を訪れ、松山市が推進する「瀬戸内・松山」構想の第一弾として、今年10月1日に、松山市立立石記念博物館で開かれた。地元や観光関係者など約300人が参加した。

松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、

ANAと松山空港

ANAと松山空港の連携。ANAは、松山空港を「瀬戸内・松山」観光振興推進本部の一環として、今年10月1日に、松山市立立石記念博物館で開かれた。地元や観光関係者など約300人が参加した。

松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、

問い合わせ先
松山市産業経済部観光産業振興課
〒790-8571
愛媛県松山市二番町四丁目7-2
TEL 089-948-6558 FAX 089-934-1764
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/kanko/

明治体感
松山
を訪ねて...
承KHS01150

「坂の上の雲」のまち松山で 企業研修を

「坂の上の雲」のまち松山で、企業研修が実施された。松山市が推進する「瀬戸内・松山」観光振興推進本部の一環として、今年10月1日に、松山市立立石記念博物館で開かれた。地元や観光関係者など約300人が参加した。

松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、

松山での企業研修について意見を交わす

福島キャスター 田川社長 野志市長

JTBと松山市が 企業研修誘致で連携

JTBと松山市が、企業研修誘致で連携。JTBは、松山空港を「瀬戸内・松山」観光振興推進本部の一環として、今年10月1日に、松山市立立石記念博物館で開かれた。地元や観光関係者など約300人が参加した。

松山市が今後掲げた観光戦略として掲げている「瀬戸内・松山」観光振興推進本部は、後藤昇・広島県地域政策局長、平尾政彦・四国ツーリズム創造機構本部長、浅谷聡・愛媛県観光振興アドバイザー(ジェイティービー西日本国内商品事業部地域統括部長)、野志克仁・松山市長、宮崎光彦・道後温泉観光協会会長(宝荘ホテル社長)が、パネリストとして、